

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

〈月報〉
平成 20年 11月
(第45～48週)

発行年月日：平成20年(2008年) 11月16日
発行 行：滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といえます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 20年				平成 19年		感染症 類型	疾 病 名	平成 20年				平成 19年	
		1～10月		11月		1～12月				1～10月		11月		1～12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	101	0	15	0	98
	痘そう	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	3	0	0	0	10
	南米出血熱 ^(*)	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺炎候群	0	0	0	0	0	0
	ベスト	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0		鼻疽 ^(*)	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0		ブルセラ症	0	4	0	0	0	1
二類	急性灰白髄炎	0	1	0	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	0	0	
	結核 ^(*)	237	22,745	22	2,444	178	20,151	ヘンドラウイルス感染症 ^(*)	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	0	0	
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	ボツリヌス症	0	2	0	0	0	3	
	鳥インフルエンザ(H5N1) ^(**)	-	-	0	0	-	-	マラリア	1	48	0	3	1	52	
三類	コレラ	0	45	0	0	0	12	野兔病	0	4	0	1	0	0	
	細菌性赤痢	2	269	0	16	2	450	ライム病	0	4	0	0	0	12	
	腸管出血性大腸菌感染症	51	3,950	0	235	55	4,586	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	腸チフス	0	49	0	3	0	47	リフトバレー熱 ^(*)	0	0	0	0	0	0	
	バラチフス	0	24	0	1	1	22	類鼻疽 ^(*)	0	0	0	0	0	0	
四類	E型肝炎	0	38	0	3	1	54	レジオネラ症	9	752	0	66	8	655	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	レプトスピラ症	0	32	0	5	0	34	
	A型肝炎	3	153	0	10	1	154	ロッキー山紅斑熱 ^(*)	0	0	0	0	0	0	
	エキノコックス症	0	14	0	2	0	16	アムール赤痢	8	705	1	73	15	781	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	ウイルス性肝炎	5	200	0	15	2	231	
	オウム病	0	7	0	1	0	30	急性脳炎	1	156	0	10	2	216	
	オムスク出血熱 ^(*)	0	0	0	0	0	0	クリプトスポリジウム症	0	8	0	1	0	6	
	回歸熱	0	0	0	0	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	130	0	8	4	148	
	キャサヌル森林病 ^(*)	0	0	0	0	0	0	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	99	0	8	1	96	
	Q熱	0	3	0	0	0	7	後天性免疫不全症候群	11	1,294	0	78	9	1,449	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	ジアルジア症	1	67	0	3	1	56	
	コクシジオイデス症	1	2	0	0	0	3	髄膜炎菌性髄膜炎	0	10	0	0	0	17	
	サル痘	0	0	0	0	0	0	先天性風疹症候群	0	1	0	0	0	0	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	梅毒	1	683	1	70	2	714	
	西部ウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	0	0	破傷風	5	105	0	8	0	88	
	ダニ媒介脳炎 ^(*)	0	0	0	0	0	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	74	0	5	0	80	
	つつが虫病	0	158	0	143	0	370	風しん	2	283	0	7	-	-	
	デング熱	2	90	0	6	1	89	麻しん	38	10,887	1	57	-	-	
	東部ウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	0	0								
鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0									

(*)：平成19年4月1日から集計 -：平成19年は定点把握対象疾患のため未集計
(**)：平成20年5月12日から集計 -：平成19年および平成20年1月～5月11日は未集計

滋賀県における全数報告感染症の概要 (11月)

<結核>

性別：男性 14名、女性 8名
類型：患者 19名
無症状病原体保有者 3名
病型：肺結核 15名、その他の結核 7名

<アムール赤痢> 男性 37歳

病型は腸管外アムール赤痢症です。推定感染経路は不明で、推定感染地域は日本国内です。

<梅毒> 男性 33歳

推定感染経路は異性間性的接触で、推定感染地域は日本国内です。

<麻しん> 女性 15歳

推定感染経路は飛沫・飛沫核感染で、推定感染地域は日本国内です。ワクチン接種歴は不明です。

*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含む

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といい、また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

11月の概要

<インフルエンザ>

第45～48週(11/3～11/30)の発生状況は、第46週(11/10～11/16)から増加し始め(下記グラフ参照)、保健所管内別では大津からの報告が多くなっていました。また、第47週(11/17～11/23)には、インフルエンザウイルスAH1型(Aソ連型)が検出されました。

<小児科定点疾患>

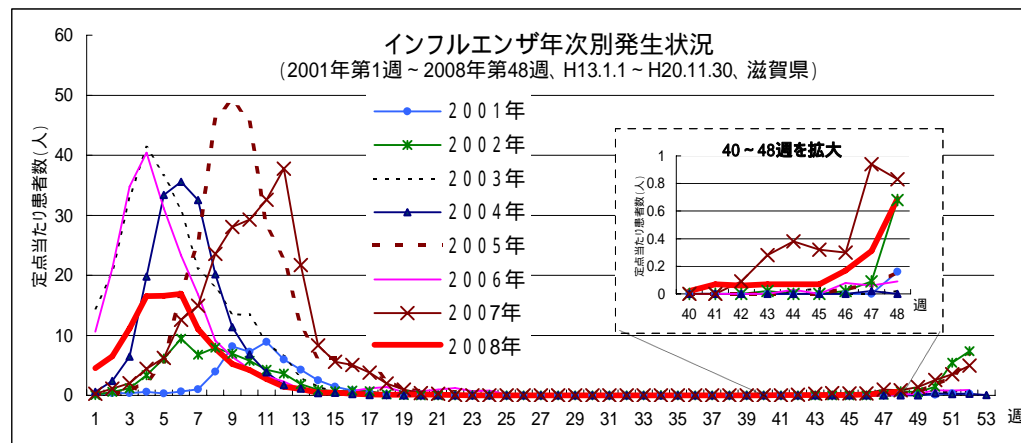
各疾患の発生状況については疾病別定点当たり患者数のグラフに示すとおりです。先月より増加傾向を示した疾患はRSウイルス感染症、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘および伝染性紅斑です。その他の疾患については横ばいあるいは減少となっていました。RSウイルス感染症は先月に引き続き、昨年同時期よりかなり多くなっていました。また、感染性胃腸炎については、昨年同時期と同様の増加傾向を示しており、保健所管内別では長浜からの報告が多くなっていました。

警報・注意報システムによる警報および注意報の疾患別発生状況は、A群溶レン菌咽頭炎では第47週(11/17～11/23)に警報開始基準値(4.00)を超え、翌週には警報終息基準値(2.00)未満となりました。流行性角結膜炎では第46週(11/10～11/16)に警報開始基準値(4.00)を超え、第48週(11/24～11/30)に警報終息基準値(4.00)未満となりました。また、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)では甲賀で第46週に注意報発生基準値(3.00)を超え、翌週には基準値未満となりました。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月の倍増となり、草津からの報告が多くなっていました。急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患である細菌性髄膜炎は大津から、無菌性髄膜炎は長浜から報告されていました。マイコプラズマ肺炎は大津、東近江および長浜から報告され、特に長浜からの報告が多くなっていました。クラミジア肺炎の報告はありませんでした。

<各定点の対象疾患>

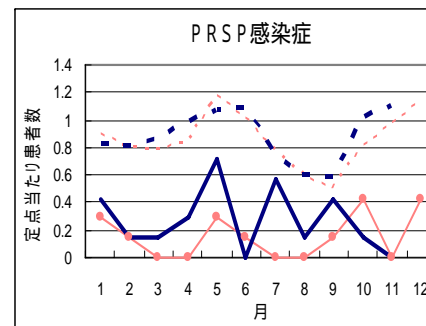
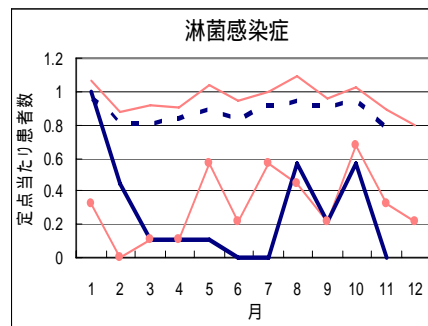
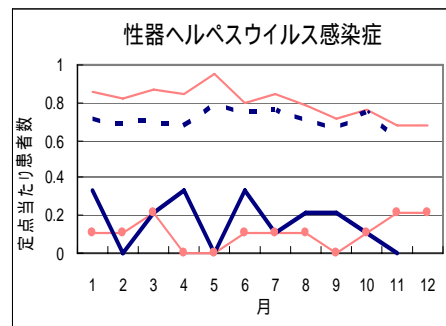
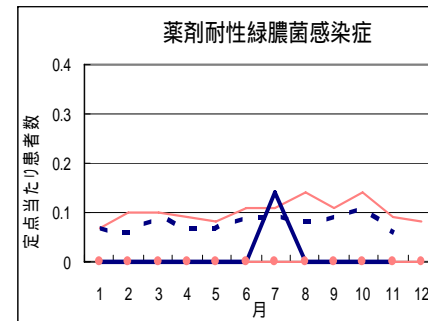
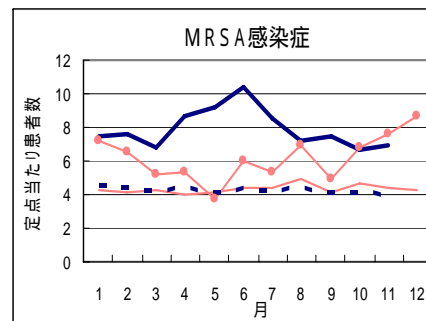
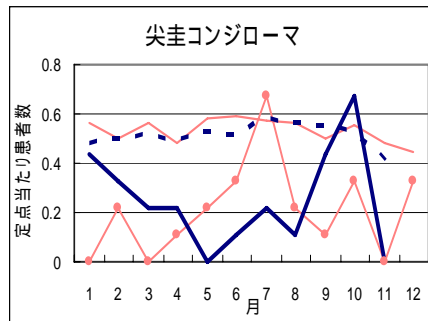
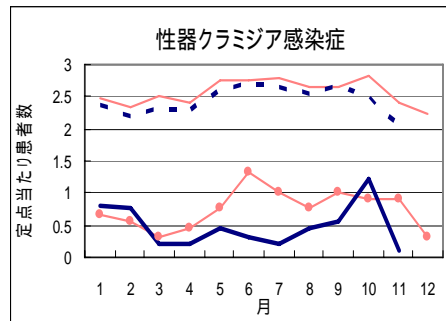


定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成20年11月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	7	7	2	2	4	3	2	4	5	11	1		48
	定点当たり	0.78	0.78	0.22	0.22	0.44	0.33	0.22	0.44	0.56	1.22	0.11		5.32
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	0	2	3	0	3	1	2	2	1	0		17
	定点当たり	0.33	0	0.22	0.33	0	0.33	0.11	0.22	0.22	0.11	0		1.87
尖圭コンジローマ	罹患数	4	3	2	2	0	1	2	1	4	6	0		25
	定点当たり	0.44	0.33	0.22	0.22	0	0.11	0.22	0.11	0.44	0.67	0		2.76
淋菌感染症	罹患数	9	4	1	1	1	0	0	5	2	5	0		28
	定点当たり	1.00	0.44	0.11	0.11	0.11	0	0	0.56	0.22	0.56	0		3.11
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	52	53	48	61	64	73	60	50	52	47	49		609
	定点当たり	7.43	7.57	6.86	8.71	9.14	10.43	8.57	7.14	7.43	6.71	7.00		86.99
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	3	1	1	2	5	0	4	1	3	1	0		21
	定点当たり	0.43	0.14	0.14	0.29	0.71	0	0.57	0.13	0.43	0.14	0		2.98
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		1
	定点当たり	0	0	0	0	0	0	0.14	0	0	0	0		0.14

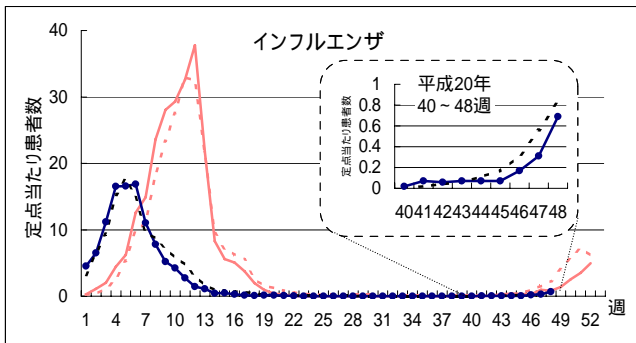


戻る

H19 { 滋賀 (red solid line)
全国 (red dashed line)
H20 { 滋賀 (blue solid line)
全国 (blue dashed line)

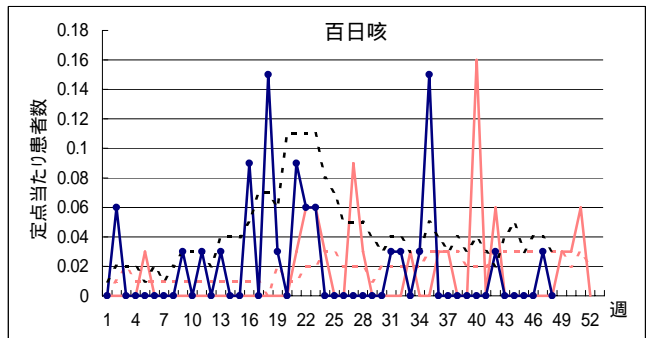
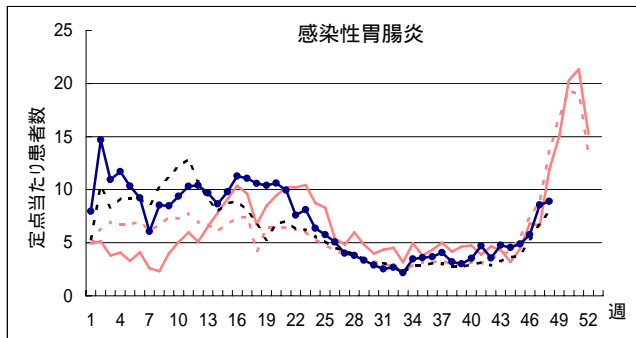
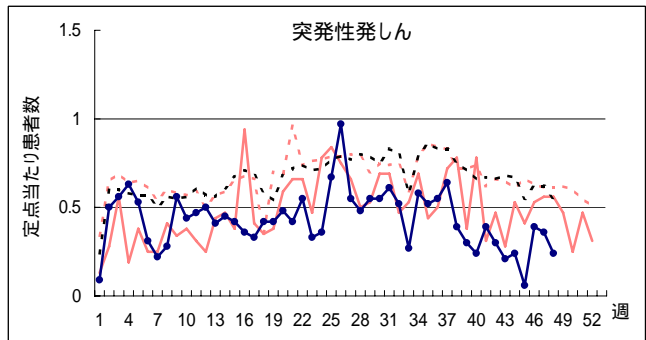
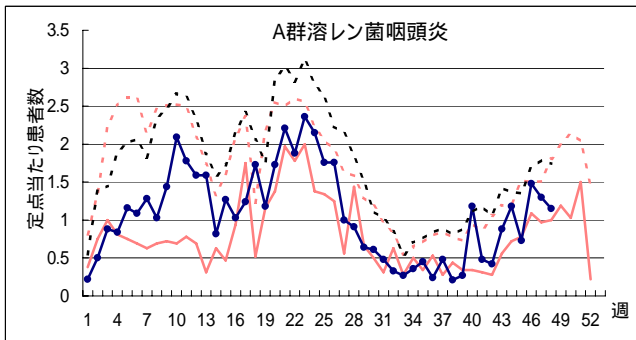
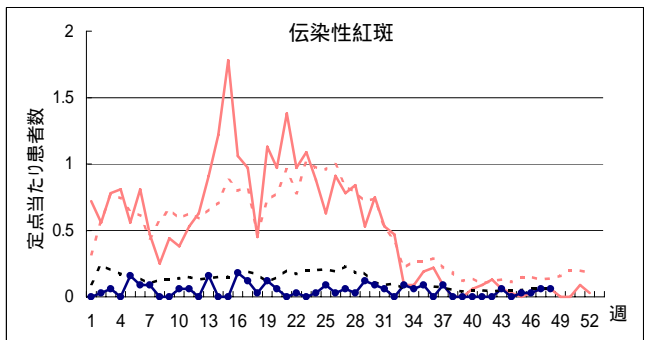
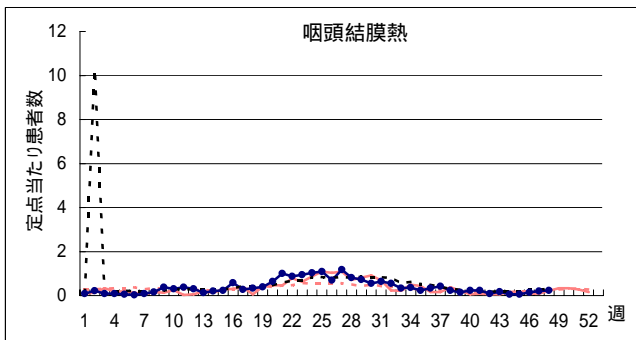
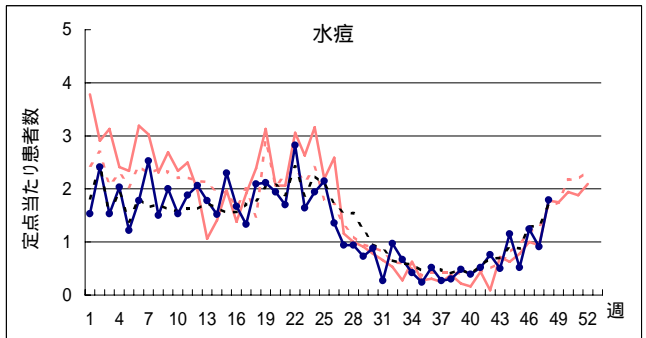
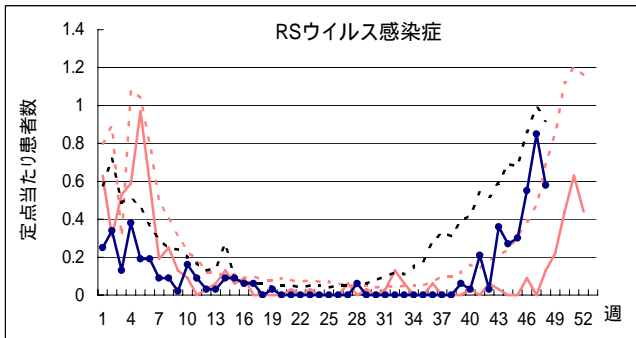
MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

疾病別定点当たり患者数(平成20年第48週、H19.12.31～H20.11.30)

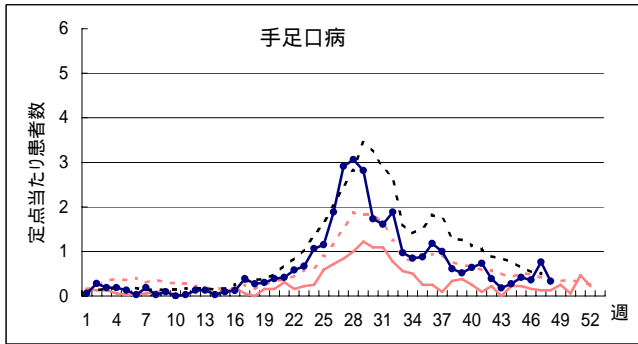


H19 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)

H20 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第48週、H19.12.31～H20.11.30)



H19 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H20 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted blue line)

